

あなたを想う、プロになる

リニエ

おたより



2025

1月

JANUARY

豆知識

絆創膏や保護フィルムの「肌に優しい」剥がし方

PhotoTime

80代 I.R様

ご利用者とともに

ご利用者の日常に思い巡らせ 在宅生活を支える

株式会社リニエL 広報推進課 米澤

事業所一覧

【訪問看護】

リニエ訪問看護ステーション四ツ橋
リニエ訪問看護ステーション四ツ橋サテライト平野
リニエ訪問看護ステーション港
リニエ訪問看護ステーション住之江
リニエ訪問看護ステーション住之江サテライト南港
リニエ訪問看護ステーション鶴見
リニエ訪問看護ステーション鶴見サテライト天満
リニエ訪問看護ステーション西淀川
リニエ訪問看護ステーション東淀川
リニエ訪問看護ステーション岸和田
リニエ訪問看護ステーション泉佐野
リニエ訪問看護ステーション枚方

リニエ訪問看護ステーション枚方サテライト大東
リニエ訪問看護ステーション二条
リニエ訪問看護ステーション草津
【デイサービス】
PDリハビリ特化型リニエデイサービス岸和田
PDリハビリ特化型リニエデイサービス泉佐野
生活機能ステップアップ型リニエデイサービス藍住
【児童発達支援・放課後等デイサービス】
リニエプラッツ本町
リニエプラッツ阿波座
リニエプラッツ枚方
リニエプラッツくずは
リニエプラッツ草津

【栄養ケア・ステーション】

リニエ認定栄養ケア・ステーション岸和田
【相談支援】
リニエ相談支援本町
【訪問介護】
リニエ訪問介護ステーション藍住
【サービス付き高齢者向け住宅】
リニエハイム藍住
【小児向け自費教育】
リニエシュール江坂
リニエシュール世田谷



ご利用者の日常に思い巡らせ 在宅生活を支える

株式会社リニエL 広報推進課 米澤
よねざわ



はじめてのケアに 心が重くなる日々

皆さま、こんにちは。広報の米澤です。先日、看護師の訪問に同行させていただき

ました。
A様は膀胱がんによってストーマが必要になりました。ストーマとは、腸や膀胱が機能しなくなったときに、手術でお腹に新しく造る排泄口です。便や尿がそこから排泄されるようになります。

退院当初は、装具がお腹に密着せず毎日のように尿が漏れてしまい、慣れない中、ご自身でのケアが何度も必要だったそう。いつ漏れて

しまうか気がかりで、ケア用品の購入に費用もかさみ、ストーマのことが一番の悩みだったとA様は振り返ります。ただ、奥様にはたくさん苦勞をかけてきたから、ケアは絶対に自分ですると心に決めていたA様。1ヶ月後には週1回の見守りに減らせることを目指し、週3回のペースで訪問がスタートしました。

気持ちに寄り添い 生活に合わせた支援

退院直後の訪問から、担当看護師とともに皮膚・排泄ケア認定看護師の三浦Ns（リニエ訪問看護ステーション四ツ橋）が同行して、お腹の状態や装具の種類、交換の手順などを確認。在宅での支援で大切なのは、できるだけ簡単な方法で、ご自身でケアができ、漏れない状態へつなげていくことだと三浦Nsは話します。実際の生活スタイルに

合わせて、手間と時間のかかる手順をもっと簡単な方法に変更し、A様自身でできるかどうかを試しながらケアを進めました。

A様は退院後2週間で、尿が漏れず、月1回の訪問でも安心な状態に落ち着きました。その背景には、奥様に迷惑をかけたくない、何とかしないとという強い思いと、前向きに努力なさったA様の姿があります。一番の悩みがなくなったと話される晴れやかな笑顔に、こちらもあたたかい気持ちが広がりました。

在宅でも安心して 生活を送るために

在宅では、使えるものも限られ、環境も様々です。状態を受け入れる間もなく、戸惑いや不安を抱えながら、ご自身やご家族でのケアが始まることも多々あります。その不安や負担を少しでも取り

除き、安心して生活いただける環境を一緒に作っていくことが私たちの役目です。

在宅でのケアは24時間365日続きます。だからこそ、訪問時だけでなく生活全体を見据えた支援が最も大切です。ご自身やご家族が抱え込まず、支援者がそのしんどさに気付き、ともに考えていくことが在宅支援のあり方だと考えます。小さなことでも相談いただける、そんな存在になれるよう私たちも励んでまいります。

（広報推進課 米澤）



看護

豆

知

識

絆創膏や保護フィルムの「肌に優しい」はがし方



看護師
山崎
やまざき



看護師
松浦
まつうら



看護師
中井
なかい

絆創膏や、透明で薄い保護フィルムは、はがすときに肌が赤くなったり、痛みを感じたりしてしまうこともあります。絆創膏をはがすときに嫌がるお子さんも多いのではないのでしょうか。それぞれに「肌に優しい」はがし方が異なります。すぐに試せるので、ぜひご活用ください！

絆創膏のはがし方



180度折り返して、皮膚を引っ張らずにはがす。



ベビーオイル(オリーブオイルでも可)を綿棒につけて、絆創膏の周りを擦る。



オイルの油分のおかげで、より優しく剥がすことができます。肌を傷つけることもありません。

保護フィルムのはがし方 (防水の絆創膏もこちらです)



フィルムの端を持ち、肌からできるだけ浮かさず平行になるように伸ばしながら、ゆっくりはがします。



肌と平行に引っ張ることで、フィルムが伸びて肌から自然に浮くようにはがれてきます。

リニエ訪問看護ステーション
草津のInstagramで
はがし方動画を掲載中!



PhotoTime
フォトタイム



野菜やお花を育てる姿を写した
フォトブックはご家族からのお誕生
日プレゼントだったそうです。



……▶ 80代 I.R様

「定年になったら畑をしてみたい」と、畑をはじめて20年。言葉がうまく出ない中、「獲れたうれしさ・楽しみ」「花が好き」、「奥さん・・・」とゆっくりながらも目的を話してくださいました。|さまが獲った野菜を奥さまが近所の方やご友人に配られていて、皆さんの喜ぶ姿が嬉しいそうです。できることを継続し、言葉でなくても周囲の方とつながり、役割があることは素敵だと思います。今日もいろいろな方の食卓に並んでいます♪

言語聴覚士 塩谷
しおたに

2025年「新年のご挨拶」

株式会社リニエール 代表取締役 谷隆博

平素より株式会社リニエールをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年も多くの方々に支えられ、株式会社リニエールは設立12年を迎え、一歩ずつ成長することができました。訪問看護ステーション3カ所、児童発達支援・放課後等デイサービス力が仲間に加わり、合計29事業所を運営するまでに至りました。リニエールグループは東京・大阪を拠点に、全国どこでも安心して暮らせるよう、社員総数約800名でサービス提供しております。これもひとえに、皆様の温かいご支援のおかげであり、改めて感謝申し上げます。

「団塊の世代」の方々が、2025

年には75歳以上の後期高齢者になります。一方、現役世代（15～64歳）の割合が減少し、働き手不足が加速するとも言われています。子育て支援やロボット・AIの導入による働き方改革、地域コミュニティや地元資源を活かしたサービス提供などの推進が求められています。そして、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博が開催される年でもあります。最先端の技術や世界の文化に触れることで、経済や文化など多方面で日本に新たな可能性をもたらすことを期待します。

私たちは、より二層のサービス向上を目指し、ご利用者の想いを支援する理念を成し遂げるために、社員一同全力で取り組んでまいります。皆様の生活に少しでも豊かさ

と安心をお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、巳の年です。蛇は脱皮を繰り返す生き物であることから、「古いものを脱ぎ捨て、新しい自分に生まれ変わる」という意味があります。また、周囲をよく観察して行動する生き物でもあります。昨日よりも今日の自分が成長し、多くの方々とコミュニケーションを図ることでネットワークを広げ、地域に役立つよう精進してまいります。どうぞ変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

結びに、新年が皆様にとって実り多き一年となりますことをお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



・・・リニエールよりへのご意見、ご感想はこちら・・・

リニエールより皆様とともに作る広報紙を目指しています。ご意見、ご感想などございましたら郵送・メールFAX・スタッフへのご伝言など、様々な方法でお待ちしております。

【リニエールグループ広報】 メールアドレス: pr@linie-group.jp FAX: 06-6684-8906

